

## 観光船事業者による海域状況（海鳥）観察 試験実施計画（案）

## 1. 調査概要

知床世界自然遺産地域のウトロ海域における、海域利用とケイマフリを中心とした海鳥生息環境の保護をテーマとした、“平成 22 年度知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会”の取り組みの一環として、観光船事業者の方々の協力を得て、運行時に見られる海鳥の簡易モニタリング調査を実施して頂き、海鳥の生息状況やデコイの設置による効果の検証を行うものである。

また、本調査は貴重な海鳥への関心度の向上や観光資源としての海鳥の利用を探る事も目的とする。調査実施に際しては、海鳥の専門家や調査研究者と観光船事業者との協力関係の構築もテーマとし、専門家によるノウハウの提供や互いの観察情報の共有が出来るような方法も取り入れ、最終的には研究者、観光船事業者、観光客、生息する海鳥、それぞれがメリットを享受出来るような仕組みを目指すものである。

## 2. 調査方法

調査はウトロ海域で運行している観光船およびシーカヤックの事業者を対象とし、運行中に見られた海鳥の状況を記録する。

### 2-1. 記録内容および調査範囲

対象を繁殖期のケイマフリのみとして、観察実施者の実施可能なレベルで実施する。

#### 【レベル1】 ～最も簡易な調査レベル

特定のエリアのみで、ケイマフリが居るか居ないか？どこに？（海上・断崖）何羽ぐらい？（1～3羽、5～6羽、10羽程度、20羽程度、・・・）固まって or ポツポツと？ ※確認したものだけで良い。

#### 【レベル2】 ～観察エリアを拡大したレベル

ウトロ港からカムイワッカにおいて、どのスポットの？どこに？（海上・断崖）何羽ぐらい？（固まって or ポツポツと？） ※確認したものだけで良い。

**【オプション】** ～調査時に可能であれば記録して欲しい内容

- ・ 餌を咥えているケイマフリが居た？居ない
- ・ 餌の種類は？ 銀色の細長い魚？茶色い根魚？カレイ類？不明？
- ・ 見た事の無い鳥を見た時の場所、その数、鳥の特徴
- ・ 鳥の大群を見た時 →どんな鳥がどっちに向かって飛んでいったか？
- ・ ウミネコ営巣地でのクマの確認状況。巣を漁っている様子などの確認。
- ・ その他何か変わった状況 (奇妙な行動。死体の浮遊。弱った鳥。)

調査結果は記録票に記録する。 ※調査記録票 (案) 参照

**2-2. 調査期間**

調査実施時期は、海鳥の繁殖期 6～8月までの期間とする。

**3. 事前の準備および調査支援**

- ・ 事前に提供する資料 (図鑑やケイマフリ関連、海鳥関連の文献資料) が必要。  
※野鳥図鑑、カモメハンドブック、そのた文献資料、説明用写真など。
- ・ 収集したデータの蓄積方法 (管理方法) と活用方法 (公開方法など) も検討。
- ・ 珍しい鳥が見られた時や、変わった光景を見た時、多数の死体を見つけた時、弱った鳥を保護した時などの連絡体制の確立。
- ・ 何度か専門家が観光船に乗船し、観察方法など支援指導を行うのも良いのでは？

**4. 調査データの管理と活用の例**

- ・ 専門家による観察内容の評価・分析を行う。
- ・ 一週間程度ごとに調査結果のダイジェストを作成し、インターネット上のページや遺産センター、観光船乗場窓口、観光船内などに掲示。
- ・ 調査期間終了後は専門家による生態調査結果と照合し、検証および評価を行い、今期の海鳥観察状況としてとりまとめる。(生態調査の結果とは別の扱い)

船名	ミーバード	観察日	平成 23 年 5 月 30 日	
		航路	硫黄山・岬・ベアウオッチング・( )	
記録者	鳥羽 太郎	出航時間	10:00 ~	
		天候	晴れ	波の高さ 0.5 m

●ケイマフリの記録

場所・位置区分	確認数	分布状況	距離	解説

●その他の記録

- ・ 南西の風 1~2m.
- ・ 象の鼻沖でアホウドリ?のような鳥2羽。(大きい)
- ・ 五湖の断崖にオジロワシ1羽 (成鳥)